



## その他

### ☆森は、緑のダム

#### ☆森は野生生物のサンクチュアリー（聖域）

かつては、国土の殆どを占めていた日本の森。今ではおよそ2/3。

そのうち、原生林（自然の力で成り立った、本物の森）は、世界自然遺産に登録されている屋久島、白神山地、知床などごく一部です。

その他は、人の手が加えられた人工林や二次林の森。

なかでも白神山地などにあるブナの森は、縄文時代から日本の文明を支えてきたとも言われ、全国にたくさん分布し、天然記念物のクマゲラやクマ、シカなど大型動物が棲める豊かな森をつくってきました。

『ブナの実一升、金一升』と、昔から言い伝えられているくらい

その恵みは、豊かです。

- ・何層にもなった枝葉は、大量の雨水をしっかりと受け止める。

雨は幹を伝って、静かに 地面にしみ込む。

- ・脂肪分の多い実は、5～6年ごとに豊作となり、動物たちが厳しい冬を乗り越えるための大切な栄養分となる。

- ・落ち葉は、地面に堆積し、動物たちのフンや死がいといっしょに、豊かな土壌をつくってくれる、虫や菌類などを増やす。

（動物の消化液にさらされて初めて発芽する菌もあるそうです）

- ・根は、大きく細かく張り巡らし、しっかりと土を支えている。

見事な生態系をつくっているブナ。

私たちには、洪水や渇水を防いで、美味しい水を与えてくれる。

温暖化が進むと、激減すると言われています。

森林は、集団になっている樹木だけでなく、

そこに存在する全ての生物や土壌を含め、

それぞれが密接につながって統一されているところ。

守って次の時代に良好な状態で手渡したい。



## その他

### ☆ゾウとお菓子

私たちが食べるお菓子とゾウは、つながっていた！

インドネシアのスマトラ島は、熱帯の原生林が残されアジアでも数少ない、たくさんの生き物がいる所です。

この島で、ゾウが相次いで住民と衝突して殺され、

スマトラゾウが**絶滅の危機**とニュースで何度か伝えられました。

大きな原因は、森が次々にアブラヤシなどの農園（植物油生産）に

かえられ、ほぼ全域に広がっていた熱帯林が半分以下に激減したことにあるということです。あと数年で森が無くなるとさえ言われています。

特に深刻な影響を受けるのが、広い生息域を必要とするゾウのような大型動物であるというのは私たちにも解ることですね。

棲みかや食べ物が限られるため、それを求めてしかたなく人間の

近くへ現れると農作物が被害を受けるとして、毒、銃、罠で次々と

殺され、わずか数十年で数が激減したということです。また、捕まった

子ゾウなどは、2度と森へかえされることはないのので胸が痛みます。

そのアブラヤシの果肉から採取されるのが、パーム油（植物油）です。

90年代から安くて環境に良いとされ、私たちの身近な加工品に使われて需要を伸ばしています。

※**パーム油が使われているとされる商品は、**

スナック菓子、チョコレート、カップ麺、マヨネーズ、調理油、

マーガリン、ペンキ、洗剤・・・注目されるバイオ燃料にも！

私たちの身近なものが、ゾウをはじめとする動物や熱帯林などその自然環境に大きく影響しているのですね。

伐採後に、森ができたとしてもゾウは戻ってくるのでしょうか？

☆**広範囲の森林伐採や生態系破壊など、生産地で問題を起こさないでつくられた商品を買いたい**ですね。